

# 衛生の見える化も対策のうち

コロナ対策が集客の要となった今、衛生管理の「見える化」も行いたい。各業界が示したガイドラインとともに、エステティックサロンやネイルサロンにも業界が定めた衛生基準がある。まずはそれを修得し、証書をサロンに掲示するのもその一法。ここでは、そんな衛生管理を「見える化」する方法をご紹介します。

## 見える化 その1

### 「エステティックの衛生基準」の修得

#### 本気の感染症対策に必須 COVID-19の知識も身につく

「エステティックの衛生基準」は公益財団法人日本エステティック研究財団(JERF/関東裕美理事長)が発刊するエステティックにおける公衆衛生を網羅した衛生基準書。感染症を引き起こす“病原微生物”を衛生管理の対象とし、そのサロンへの“侵入防止”(手洗い・感染罹患が疑われる者の分離)と“除去または無害化”(清掃・換気・消毒)について詳細に解説している。この4月、コロナ対応も考慮して改定された。eラーニングで修得可能で、受講を申し込む→テキストが届く→Webで解答→合格すると修得を認める証書が発行される。



**エステティックの衛生基準**  
執筆には、政府の専門家会議の委員である館田日本感染症学会理事長も参画。  
受講料: 1人3,000円(税込)、  
再受講料: 1回1,500円(税込)

eラーニングについてはこちら



## 見える化 その2

### JNA「ネイルサロン衛生管理士」の取得

#### 業界の統一衛生基準を修得し 安心・安全の提供を

NPO法人日本ネイリスト協会(JNA/仲宗根幸子理事長)では、「ネイルサロンにおける衛生管理自主基準」を制定し、普及のため、ネイルサロンで正しく活用できるように「ネイルサロン衛生管理士」資格制度を設けている。自主基準は、各界の有識者で構成される第三者機関、ネイル産業審議会の認証を得て制定され、消費者の健康を守る安全で安心なネイルサービスの普及と公衆衛生の向上に資することを目的としている。「ネイルサロン衛生管理士」資格は、JNA認定校で実施の講習会を受講し、確認テストを受け、合格者には認定証と資格バッジが授与される。



**JNAネイルサロン衛生管理士**  
2019年12月末日までに72,067名が本資格を取得している。受講はJNA認定校へ。  
受講料: 一般価格: 10,560円(税込) / JNA会員価格: 6,160円(税込)

「ネイルサロン衛生管理士」についてはこちら



## 見える化 その3

### 団体・組合の対策POPを活用

#### 実施している感染対策をポスターでアピール

美容業界の組合や団体から、衛生対策のポスターが出ていることをご存知だろうか。POPはWeb配信もされているので、自店のホームページや、印刷して店頭などに掲示して活用できる。ダウンロード条件はさまざま、例えば美容組合が開催する衛生講習会の修了者が取得できるものや、組合員であればだれでもダウンロードできるもの、各業界からの衛生ガイドラインの則した営業をしていることなど条件はそれぞれ。まずは、関係団体のHPをチェックしたい。

- 一般社団法人日本エステティック協会……………会員限定で配布
- NPO法人日本ネイリスト協会…………… JNA認定ネイルサロンに配布
- 全国理容生活衛生同業組合連合会……………各都道府県組合にて実施
- 全日本美容業生活衛生同業組合連合会……………各都道府県組合にて実施

## 見える化 その4

### “見せる”衛生管理で安心を醸成

#### 衛生管理は顧客の前で SNSでも衛生管理を発信

従来、大切ではあっても、あくまで裏方仕事だった衛生管理。けれど、コロナ禍のもとでは、あえて“見せる”衛生管理がお客様の安心感を生みだす。例えば、器具の消毒はお客様の目に留まる場所で行う、ディスプレイの備品はあえて顧客の面前で開封して、確実な衛生管理を行っていることをアピールしたい。また、コロナ対策に関する情報発信も積極的に行いたいもの。マスクやフェイスシールドをつけたスタッフの姿、シザーやコームを一客毎に消毒している様子などを写真に撮り、解説もつけてSNSにアップするなど、衛生管理を意識した情報発信も集客の鍵となるだろう。



BA北海道



BA秋田



理容あいち



BA長野



BA富山